

住民からの声



高根沢町在住
鈴木 定次さん

今となっては昔々と言えるだろうが、野には清らかな小川が流れ、魚が泳ぎ、夏にはホタルが飛び交う。自然が良いということは、人間が住むのにとっても大切な事であると思います。人々はそれを気付かず薬を使い、人間の都合のいいように環境を変えていったように思います。それが自分たちを追い詰めていくのも知らずに...

昔のような自然を取り戻すには、長い時間と皆の努力が必要に思います。各地で、皆の力で少しずつ自然がよみがえってくる話題が聞こえてきますが、同じ思いで頑張っている人たちがいます。人も自然も一体となれる郷土がきっと来ると信じています。

昨年、古紙回収工場やごみ処理施設を見学した。

膨大なごみの量に驚いた。古紙回収工場では、手作業で古紙に混じっている金具を取り外したり、紙類の分別をしたりしている人たちの姿が目が釘付けになった。ごみ処理場でも、ごみの分別に手作業を加えることもあるそうだ。ごみは分別することにより、新しい資源として私たちの手元に戻ってくる。私たちは、少しでも工場の人たちが仕事をしやすいように、リサイクルしやすいようにしていかなければならない。

今回の経験は、自分のごみの出し方について改めて考える、良い機会となった。私たち一人一人がごみを分別して、少しでもごみが減るように考えていかなければならないと思う。



矢板市在住
高瀬志穂美さん

環境施設用地に関する説明会

平成18年1月8日に、高根沢町改善センターにおいて、検討対象となった9地区の区長及び保健委員を対象に、環境施設用地の検討経過及び結果についての説明会を実施しました。

この中で、施設が稼働した時の交通量や施設の安全性など、いくつか質問が出ましたが、事務局では現在稼働している塩谷広域環境衛生センターへの運搬車両台数やダイオキシン排出量等、現状について説明しました。



「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合施設整備室のホームページも開設しております。

ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地1

塩谷広域行政組合 施設整備室 磯・小堀・印南・片野・斎藤
TEL0287-48-2760 FAX0287-48-0463



この印刷物は「環境にやさしく」をモットーに「古紙配合率100%再生紙」「大豆油インク」を使用しております。